

サブテーマは共生社会！「ドイツ映画祭2020 in 真庭中央図書館」の開催

cine/maniwa

活動の目的

映画館のない真庭で、映画祭を開催する。1つのテーマを多面的に楽しみ学ぶ機会をつくり、多面的な視野を持つことの面白さや大切さを地域とともに学びたい。また、ゲストを招き、普段の里山生活では知ることのできない世界や景色、文化や民族、歴史について、地域内外の人とともに理解を深めたい。複数の専門家の話しを生で聞くことで、マスメディアやインターネットにはない学びを得ることができ、メディアリテラシーの勉強にもなるだろう。テーマはドイツ、サブテーマは共生社会とする。ドイツは映画史において歴史があり、当地真庭市は東京オリパラ2020の共生ホストタウンとしてドイツをお迎えする。また、この機会に、昨年の映画祭テーマ、ポーランドについてもさらに学びを深めたい。映画ならではのスペシャルなまなびの場づくりを行い、映画による地域文化振興を目指す。

活動の内容及び経過

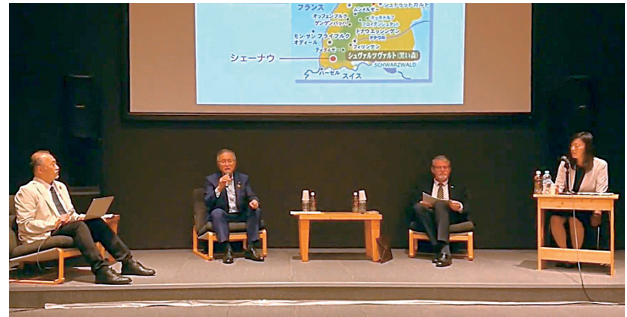
●スケジュール：4～6月作品選定・企画検討（コロナ感染拡大、5月緊急事態宣言なども受け、企画検討保留時期あり）、7月概要決定、8月宣伝、9月実施

●内容：ドイツ映画を3日間上映（計7作品・計9回上映）／ゲスト（計4名）を招いての特別講演会・対談及びトークショーの実施／トーク時の手話通訳実施※申込制／特別講演会・対談のオンラインライブ配信※申込制／共生社会についての地域座談会の開催／地元クラフトビール、ドイツ料理とドイツテクノ音楽（DJ）のビアガーデンを開催（2晩）／地元温泉地の宿泊パック企画の実施※申込制／無料託児の実施※申込制

●コロナ対策：マスク着用／座席は1席空けて、定員半分以下に設定／各回終了後の会場除菌、換気の徹底、受付には飛沫防止スクリーンを設置／ビアガーデンのドイツ料理はふた付きのお弁当タイプ／特別講演のオンラインライブ配信／YOUTUBE観賞可作品上映

活動の成果・効果

1月の申請時では予想できなかったコロナ禍で、企画保留・練り直しもあったが、多くの方のご協力を受け、映画祭を開催することができた。ドイツは映画大国で優れた映画が多く、作品選定は困難だったが、サブテーマ共生社会、ドイツ再統一30周年、地元地域にしっかり向き合い選んだ。東ドイツ製作作品など、特別に本国からお借りし、貴重な上映もできた。熱心な映画人から一般的に映画を楽しむ人まで、多くの方に喜ばれるプログラムを組むことができた。また、トーク時の手話通訳（予約制）は、文化的な内容に

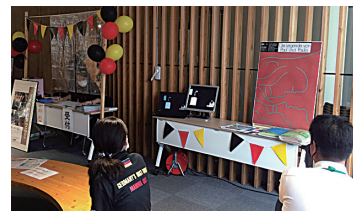


特別講演・対談(手話通訳付)



共生社会 座談会

ゲストトーク(手話通訳付)



受付ロビーの様子

手話通訳が付くことは珍しく、大変好評だった。自然エネルギーについてのドイツ総領事と真庭市長による特別講演・対談のほか、地元若者団体による地元クラフトビールのビアガーデン（地元飲食店によるドイツ料理やドイツテクノDJ音楽付）や温泉地とのコラボ企画など、真庭地域の魅力を活かした映画祭となった。また、コロナ禍を鑑みて、オンラインでの映画鑑賞、講演・対談配信も行うことができた。

今後の課題と問題点

オンラインライブ配信の導入は新チャレンジだったので、機材のレンタルから、撮影・スイッチングの練習（カメラ切り替え）、配信確認など本番直前にリハーサルを重ねた（予想外に時間をとられることにもなった）。通常の映画・映像制作は、撮影したものを編集する。ライブ配信は、その場でカメラを切り替え、画面を編集し、視聴者に伝えるのでアプローチが異なる。また、昨年からの課題だが、連携企画が多岐にわたりプログラムが充実していくと、多くの方に喜ばれる一方で、ボランティアベースの実施に限界がある。

- 代表者：山崎樹一郎 ●所在地：真庭市
- TEL：080-3103-2848 ●E-MAIL：cinemaniwa@gmail.com
- URL：https://www.facebook.com/cinemaniwa
- 設立年：2007年 ●メンバー数：8名